



## <CAM ベトナム・リサーチ・レポート>

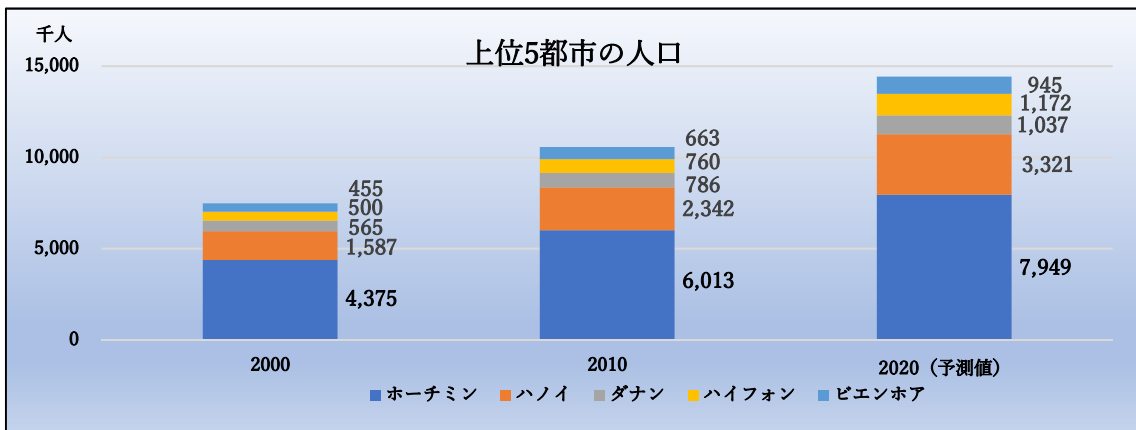
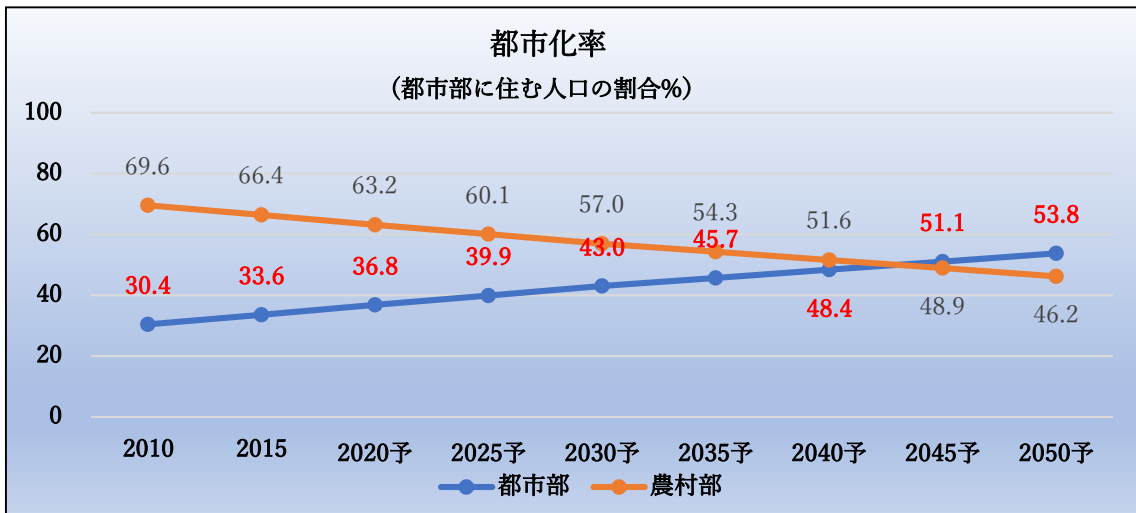
2019年7月1日

### 都市化が進むベトナム

#### 都市化・工業化の進行で毎年100万人が農村から都市へ流入

ベトナムでは毎年、約100万人の農民が都市部に流入し、その製造業の発展を支えている。農業分野での雇用は、2000年以降の過去17年間で約65%から約40%に減少した（雇用全体に占める割合）。2045年には都市部と農村部の人口が逆転する見込みで、農村部の48.9%に対し都市部は51.1%を占めると予想されている。

特に上位5都市の人口増が顕著である。2000年～2020年（予想値）の20年間で、首都ハノイ、北部最大の港湾都市ハイフォン、南部最大の工業地区を形成するビエンホアでは、人口が2倍以上に急増すると予想されている。



出所：経済産業省「医療国際展開カントリーレポート/ベトナム編」、データは国際連合「World Urbanization Prospects」から

以上